

NSAIDs にお悩みではありませんか？ 商品番号 001・002

炎症性疾患の管理に NSAIDs の副作用を気にしないで良い SRD-P001・SRD-P401 に代えてみませんか？

私たちは疼痛を伴う慢性関節炎などの治療には NSAIDs などの医薬品ではなく、安心して長期に渡っての摂取が可能で、副作用の発現の無い食品などによって炎症、疼痛を管理することが望ましいという考えに至りました。

変形性関節症あるいは慢性関節炎に対する現在の治療は一般的に非ステロイド性消炎鎮痛剤（NSAIDs）ロキソニン、アスピリンなど西洋医薬品治療が主と考えています。しかし、NSAIDs はその性質上強い消化器障害を誘発する事が知られ、長期の使用には耐えられません。長期投与の不可能な薬剤での治療は疾患が完解しないうちに投薬を中止しなければなりません。そこで、長期間に渡って安全に使用でき、消炎鎮痛効果を示す代替療法が求められています。

欧米では昔から西洋白ヤナギが使用されています。ヤナギはアスピリンの発見に繋がった植物でその鎮痛効果は古くから知られています。しかし、それだけでは鎮痛効果発現には不十分で、幾つかの食品（ハーブ類）を配合して消炎・鎮痛効果を引き出すことが重要で、漢方薬の生薬の配合の考え方を取り入れる事が大切との考えに至りました。今回開発した処方、SRD-P001（表-1、有限会社サン自然薬研究所企画・開発、東京）、あるいはその改良処方 SRD-P401 は炎症を抑えるために食品として使用が可能なハーブ類、ショウガ、ハトムギ、西洋シロヤナギなどを配合し、また炎症に因って生じる活性酸素を除去するために強い抗酸化活性が示されている松樹皮エキス（ピクノジェノールなど）、更には、中枢神経を抑制し鎮痛抑制を示す西洋シロヤナギ、シナモン、また傷んだ関節を修復するために必要なグルコサミンなどを配合した複合食品です。

SRD-P001、SRD-P401 はヒトの関節障害による疼痛に対しても緩和する効果のある事を臨床試験から明かにしております。NSAIDs の副作用を心配する事無く、炎症、疼痛の症状改善が可能な本剤のご使用を是非先生の治療方針に導入して頂きたくご案内申し上げます。

最も優れた特徴に【アスピリン並みの抗炎症効果】を示したことです。

